

LESSON 06

第6回 情報科教育法

生成AIを題材にした授業

問い・活動・提出物・発表メモを整える

稲垣 俊介 山梨大学 教育学部 准教授

FLOW

生成AI授業づくりの流れ

第5回

ラフ案を作る

授業のラフ案を作る

第6回

完成させる

発表できる形まで完成させる

第7回

発表する

1人15～20分で発表する

今日は、発表前の作成をします。

今日の完成条件

この6つがそろえば、次回発表できる

- ① 中心発問がある
- ② 具体的な場面がある
- ③ 判断が分かれるジレンマがある
- ④ 生徒が行う活動がある
- ⑤ 生徒が提出するものがある
- ⑥ ノート欄に話す内容がある

今日の進め方

一気に全部は作らない。チェックポイントごとに作る。

①

中心発問

②

場面とジレンマ

③

生徒の活動

④

生徒の提出物

⑤

ノート欄の発表メモ

少し作る → フォームに書く → また作り直す

中心発問

この授業の中心発問は何か

よい発問の条件

- ① 短い
- ② 具体的な場面が見える
- ③ どちらにも理由がある
- ④ 高校生が自分事として考えられる
- ⑤ 最後まで残る問いである

発問を見直す

皆さん自身の題材で見直す

弱くなりやすい発問

- ① 広すぎる
- ② 答えがすぐ決まる
- ③ 注意点の列挙で終わる
- ④ 高校生の場面が見えない
- ⑤ 話し合う必要がない

強くするには

- ① 具体的な場面にする
- ② 判断が分かれる形にする
- ③ 条件によって答えが変わるようにする
- ④ 最後に自分の考えを書ける問いにする

中心発問を書く

Q3 この授業の中心発問を書いてください。

Q4 その発問で、高校生は何と何の間で迷うか。

書いたら、最初の問いスライドを直す

CHECKPOINT 02

場面とジレンマ

問いが立ち上がる場面を作る

考えること

- ① 誰が
- ② 何のために
- ③ どのように生成AIを使うのか
- ④ 何に迷うのか

場面が具体的になると、ジレンマが立つ

場面とジレンマを書く

- Q5** 高校生に見せる具体的な場面を書いてください。
誰が、何のために、どのように生成AIを使っていますか。
- Q6** その場面で衝突している価値を書いてください。

書いたら、場面提示スライドを直す

生徒の活動

生徒は何をするのか

活動の例

- ① AIに質問する
- ② AI回答と資料を比較する
- ③ 自分の文章とAIの文章を比較する
- ④ 判断理由を書く
- ⑤ 条件を決める
- ⑥ ペアで話す
- ⑦ 自分のルールを作る

問いにつながる活動を選ぶ

生徒の活動を書く

Q7 生徒は授業中に何をしますか。具体的な活動を書いてください。

Q8 その活動は、中心発問を考えるためにどう役立ちますか。

書いたら、活動スライドを直す

生徒の提出物

生徒は最後に何を提出するのか

提出物の例

- ① 判断と理由
- ② 条件付き利用ルール
- ③ AI回答の根拠確認メモ
- ④ 自分の文章とAI文章の比較表
- ⑤ まだ迷っている点
- ⑥ 自分なりの生成AI利用ルール

提出物から、何を考えたかが見えるようにする

提出物を書く

Q9 生徒は最後に何を提出しますか。フォーム、ワークシート、比較表、判断表など、具体的に書いてください。

Q10 その提出物を見たとき、教師は何を確認できますか。

書いたら、振り返り・提出物スライドを直す

ノート欄

次回発表のために、ノート欄に話すことを書く

必ず書くスライド

- ① 中心発問
- ② 場面提示
- ③ 生徒の活動
- ④ 深める問い
- ⑤ 提出物または振り返り

書くこと:このスライドで何を話すか、生徒に何をさせるか

EXAMPLE

ノート欄の例

このくらい書ければ十分

このスライドでは、生成AIを使った場면을提示する。

生徒にはまず、「これは学習支援か、不正か」を個人で判断させる。

ここでは正解を言わず、理由を出させる。

最後の確認

次回発表できる状態にする

- ① 中心発問がある
- ② 具体的な場面がある
- ③ 判断が分かれるジレンマがある
- ④ 生徒が行う活動がある
- ⑤ 生徒が提出するものがある
- ⑥ ノート欄に話す内容がある

最終フォーム

Q11 PowerPointのノート欄に、発表時に話す内容を書きましたか。

Q12 次回発表までに直す必要がある点を書いてください。

Q13 今日、教師として大切にしたいと思った姿勢を書いてください。

途中で書いた内容を見直して、最後に整える

提出確認

できれば今日中、遅くとも23日(土)までに提出をしてください。

- ① 授業スライド案
 - ② 生徒用提出物案
 - ③ Googleフォーム
-

次回 生成AI授業案の発表(1人15～20分)